

独立行政法人国際交流基金  
国際交流基金アジアセンター  
「アジア・市民交流助成」助成事業



フィリピン国レイテ島タクロバン研修「フィリピンにあいでみ」参加者募集要綱

一般社団法人 Bridge for Fukushima

代表理事 伴場 賢一

福島県福島市五月町 2-22

TEL/FAX : 024-503-9069 mail : info@bridgeforfukushima.org

## 1 主催団体

一般社団法人 Bridge for Fukushima 代表理事 伴場 賢一

## 2 事業概要

### (1) 事業の目的及び概要

地震・津波・原発事故による被災経験を持つ福島の高校生 4 名が、台風による被災経験を持つフィリピン国レイテ島タクロバンを 4 泊 5 日で訪ね、現地高校生等との交流・現地の現状視察を行う。町が抱える社会課題が顕在化している現場（激甚被害を受けた地域、貧困地域等）を訪問し、互いの被災地域の持つ背景と現状を理解する。ロジックモデル等の手法を活用し、社会課題解決の方法を両国の高校生同士が考え、企画にまとめる。

### (2) 事業の内容及び日程

- ・ 2016 年 2 月中：渡航前事前研修（福島市にて実施）

#### ◆渡航日程：2016 年 3 月 9 日(水)～13 日(日) (4 泊 5 日)

【第 1 日目】福島発 タクロバン着

（早朝：福島発→バス等による移動→羽田空港発→マニラ経由→タクロバン着を予定）  
休憩・就寝

※利用予定宿泊施設：Z pad residences (<http://www.zpadresidences.com/>)

【第 2 日目】タクロバン市内での活動

San Jose 高校訪問

激甚被災地等視察予定（San Jose 地区、Magallanes 地区等）

ワークショップ【フィリピンの社会課題ディスカッション】

【第 3 日目】タクロバン市内での活動

レイテ教育大学訪問

激甚被災地等視察予定（Anibong 地区等）

福島に関する現況報告

ワークショップ【フィリピンの社会課題ディスカッション】

【第 4 日目】タクロバン→マニラ移動日

※マニラ空港付近で宿泊

【第 5 日目】マニラ→羽田空港移動→バス等による移動→18 時頃 福島着（郡山市）

※現地受入側との調整により、内容に変更の可能性があります。

- ・ 2016 年 4 月中：渡航事後研修（福島市にて実施）

(3) 募集人員 福島県内の高校生若干名

(4) 応募資格

- ・福島県内在住の高校生であること※県外避難中の福島県民生徒は要相談
- ・現地交流に際して十分な英語運用能力を有すること(参考:TOEIC スコア 700 以上・TOEFL iBT スコア 70 以上・英検 2 級以上)。ただし、当該スコア以下であっても、現地交流に際し特段の努力をすることを選考用様式等にて証明できる場合には、この限りではない。
- ・国籍は問わない。日本国籍以外の場合は、応募に際してフィリピン入国のための査証申請に十分な時間があることを、大使館などに各自確認の上応募すること。
- ・交流活動内容を主体的に創造できること
- ・福島市で実施予定の事前・事後の会議に参加できること(※日程は別途連絡)

(5) 個人負担金

国内往復交通費(福島⇄羽田空港)・渡航費・現地宿泊費・現地食費・海外旅行保険料は、国際交流基金アジアセンター「アジア・市民交流助成」によって賄われます。現地での私的な軽食購入費・土産代のみ持参ください(5千円~1万円程度)。フィリピンペソへの両替金額は、別途事前にご相談ください。

(6) 申し込み方法

参加希望者が別添様式「参加用選考様式」「参加承諾書」の2つを記入、以下へ直接郵送願います。公欠届などが必要な場合や、外部での交流プログラム参加に学校の許可が必要な場合、**必ず自分が所属する学校内の担当教諭に手続き方法を確認の上、担当教諭の氏名・連絡先を書き添えた上で**、ご応募ください。別添様式は Bridge for Fukushima web サイト(<http://bridgeforfukushima.org/archives/3104>)からダウンロードし、ご記入ください。

郵送先：〒960-8061 福島市五月町 2-22

一般社団法人 Bridge for Fukushima 「フィリピンにあいでみ」係 宛て

締切：2016年1月25日(月曜)上記事務所へ必着

(問い合わせ窓口：事務担当 一般社団法人 Bridge for Fukushima 加藤  
電話 024-503-9069 e-mail : [info@bridgeforfukushima.org](mailto:info@bridgeforfukushima.org))